

ノード内での高効率なデータ処理・保護技術の研究開発

情報科学研究科 青木孝文，本間尚文

概要

東日本大震災時は，広い範囲に渡って通信ネットワークに深刻な被害を受けた．そうした状況下においても身近のネットワークノードでデータの処理や保護，蓄積ができれば，広域ネットワークが復旧した際に瞬時にそれらを利用できるだけでなく，最も重要な災害直後の情報が欠損することを防ぐことができると予想される．緊急情報には，被災地の音声・画像・映像情報に加えて，安否情報や金融取引情報，医療情報などが含まれる．以上の背景から，本研究では，災害時のネットワークノード内での効率的なデータ処理技術を調査・開発する．また，ノードに蓄積すべきセンシティブなデータを効率的に保護する技術の研究も実施する．